



シニア雇用への新型コロナウイルスの影響

<個人編>



2021年5月
株式会社リクルート
ジョブズリサーチセンター

このレポートは、シニア層（60～74歳）を対象としたアンケート結果から、新型コロナウイルスの影響についてピックアップしたものです。調査結果からは、コロナ影響により就業意欲が弱まったシニアが少なくないことがわかりました。一方、健康維持などのために就業意欲が強まった人もいます。また、WEBアンケートによる回答という条件はあるものの、シニア層でも仕事や日常生活の中でのオンライン化が進んできているようです。今後のシニア採用・定着・活躍を促進するには、これまで以上に健康への配慮やITツールなどの対応に工夫が必要だと考えられます。

	項目	ページ	ポイント
就業意欲	就業意欲への影響	4	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ影響で就業意欲が弱まったシニアが約2割。非就業者では3割超となった。 ● 弱まった理由は、「感染予防のため」「仕事が見つからない」のほか、「外に出るのがおっくう」など。一方、健康維持などのために就業意欲が強まった人もいる。
	就業意欲が弱まった理由	5	
	就業意欲が強まった理由	6	
仕事	就業状況への影響	7	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自発的に離職した」3.3%、「失業した」2.5%。就業者の仕事への影響では、「勤務日数・時間が減った」は約2割、「休業した」は1割弱。 ● 「オンライン会議」「非常時のテレワーク」が進んだとの回答が2割弱。シニア層でもオンラインでの働き方が進んできている。
	仕事への影響	8	
	働き方の変化	9	
生活	生活の変化	10	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活の中で変化したこととしては、「健康に気をつかうようになった」83.1%、「パソコンやスマートフォンを使い始めた、使う時間を増やした」54.2%など。
	所有端末	11	
回答者の声	今後の希望や不安	12	<ul style="list-style-type: none"> ● 「収入減」「働きたいが感染が心配」「仕事探しの難しさ」

調査名	シニア層の就業実態・意識調査2021 個人編
調査方法	インターネット調査
調査期間	2021年3月26日（金）～3月29日（月）
調査対象	55～74歳の男女（全国） －現在働いておらず、仕事探してもしておらず、誘いがあっても働くつもりはない人を除く
回答者数	8,000人 ※今回の集計対象は、60～74歳の6,000人

性別・年齢（人）

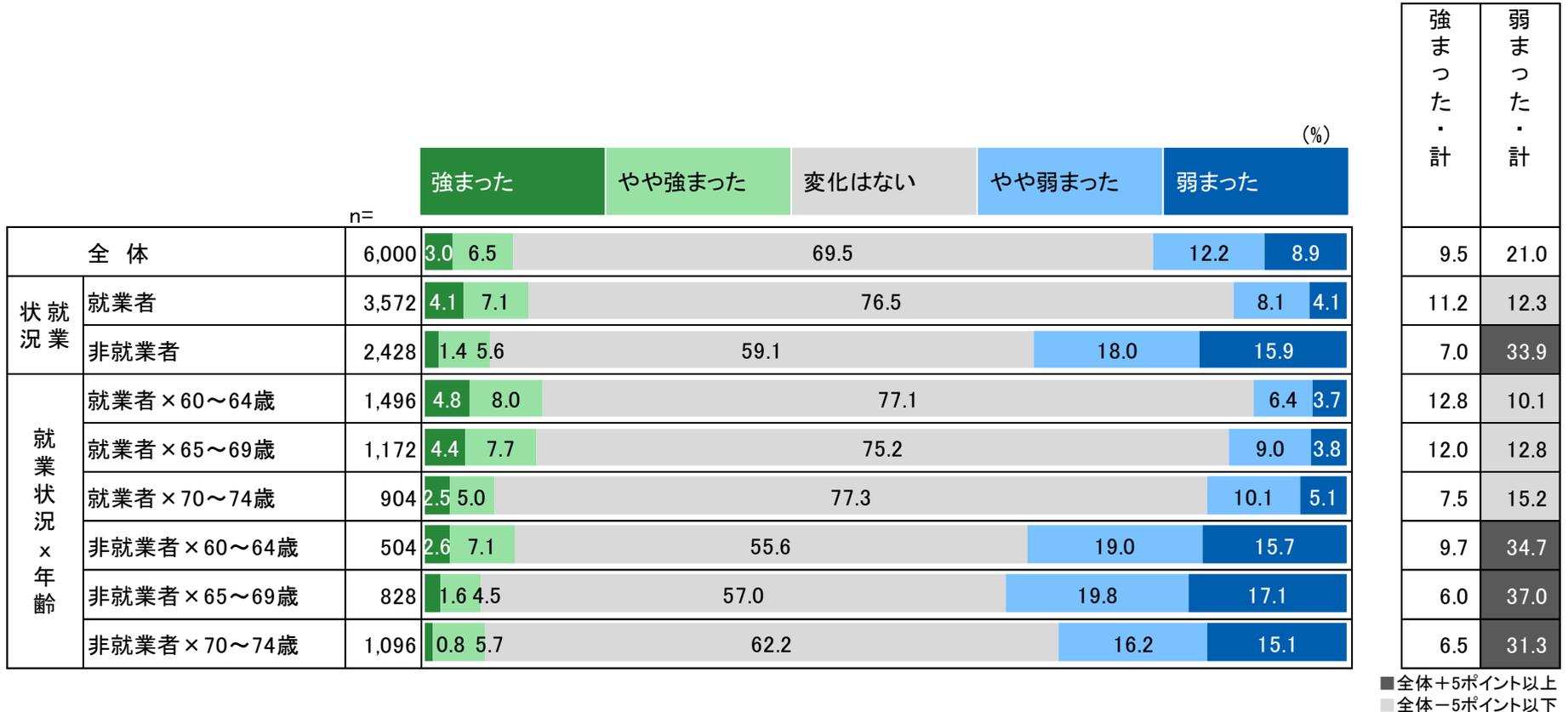
	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳
男性	1,000	1,000	1,000
女性	1,000	1,000	1,000

現在の職業（%）

正社員・正職員	契約社員・準社員	アルバイト・パート	派遣社員	会社経営者	自営業・自由業	専業主婦／主夫	無職
15.9	8.9	20.0	1.2	2.1	11.5	17.8	22.7

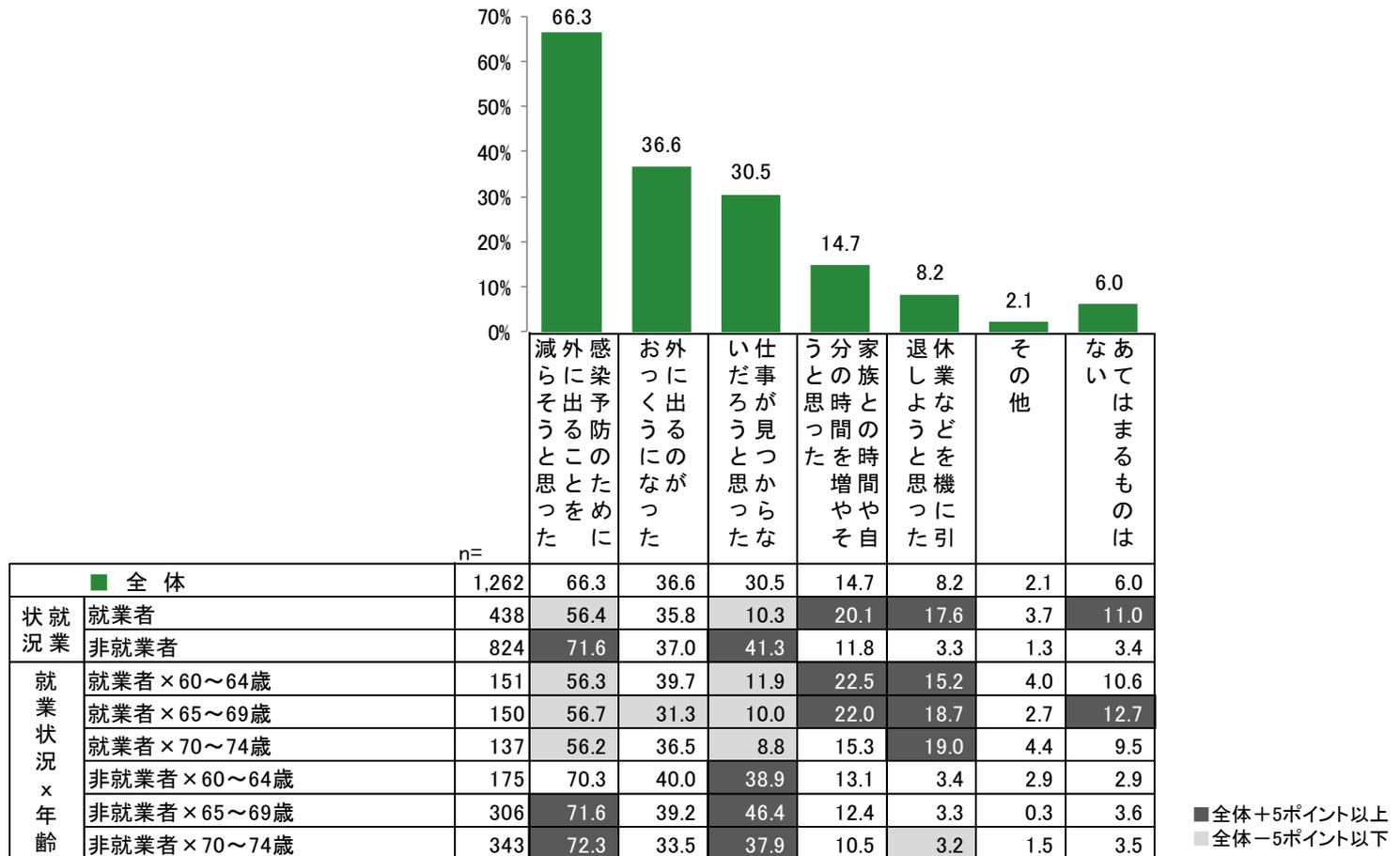
※ レポート内のグラフと数表は、集計結果の小数点第2位を四捨五入して表示している。このため、構成比の合計が100にならない場合等がある。

「強まった」または「やや強まった」との回答が計9.5%、「弱まった」「やや弱まった」との回答が計21.0%となった。特に非就業者では就業者に比べて就業意欲が弱まったとの回答が多く、いずれは働こうと思っていたがコロナ影響でためらうようになった人が少なくないと考えられる。（※調査対象者には働くつもりがない人が含まれていない点に注意が必要。P.3参照）



Q. 新型コロナウイルスの影響で、働きたい／働き続けたいという気持ちに変化はありましたか。（単一回答）
【対象者：全員】

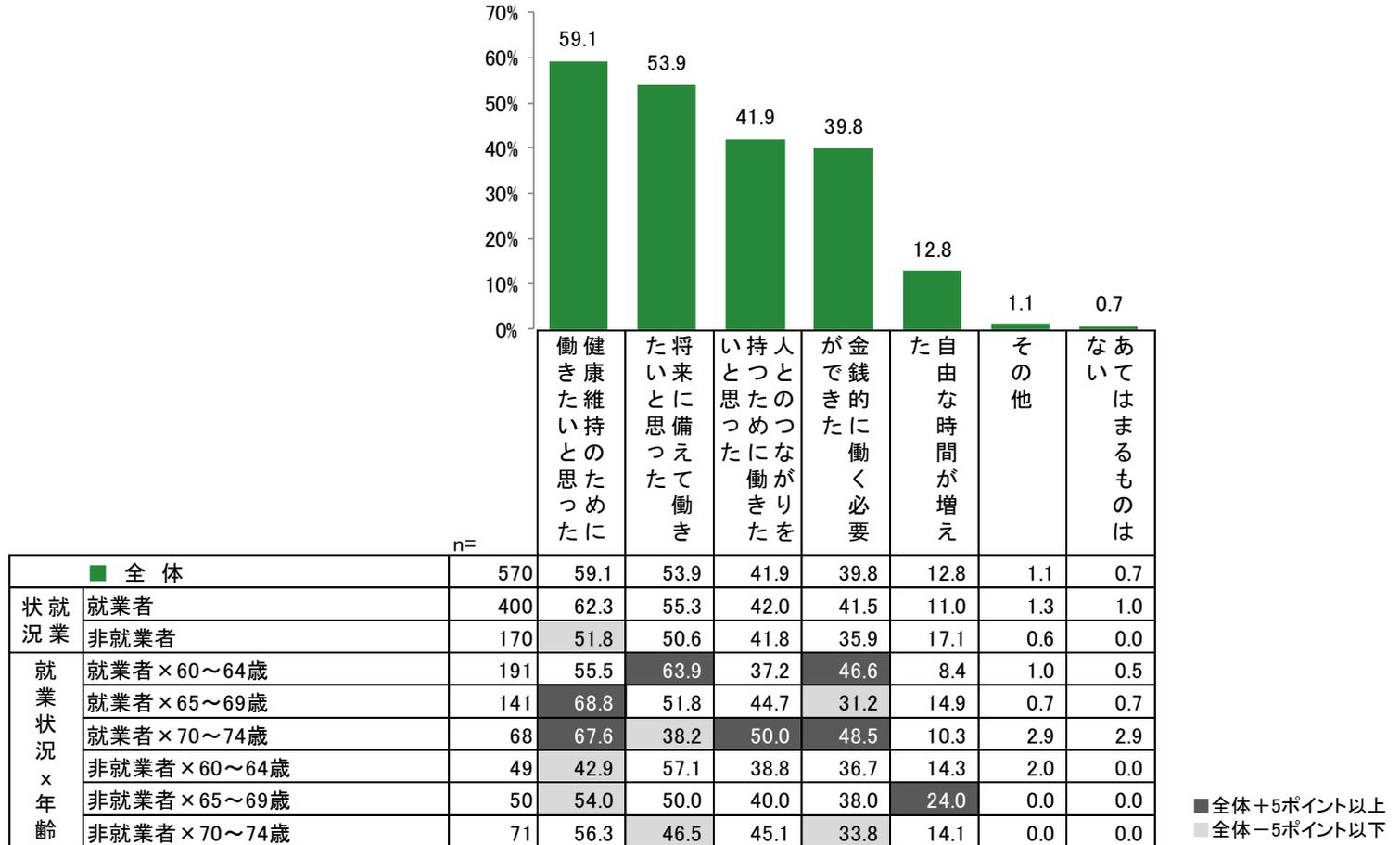
「感染予防のために外に出ることを減らそうと思った」が66.3%で最も割合が高い。次いで、「外に出るのがおっくうになった」「仕事が見つからないだろうと思った」が3割以上となっている。



Q. 新型コロナウイルスの影響で、働きたい／働き続けたいという気持ちが弱まったのはなぜですか。（複数回答）

【対象者：「弱まった」または「やや弱まった」人】

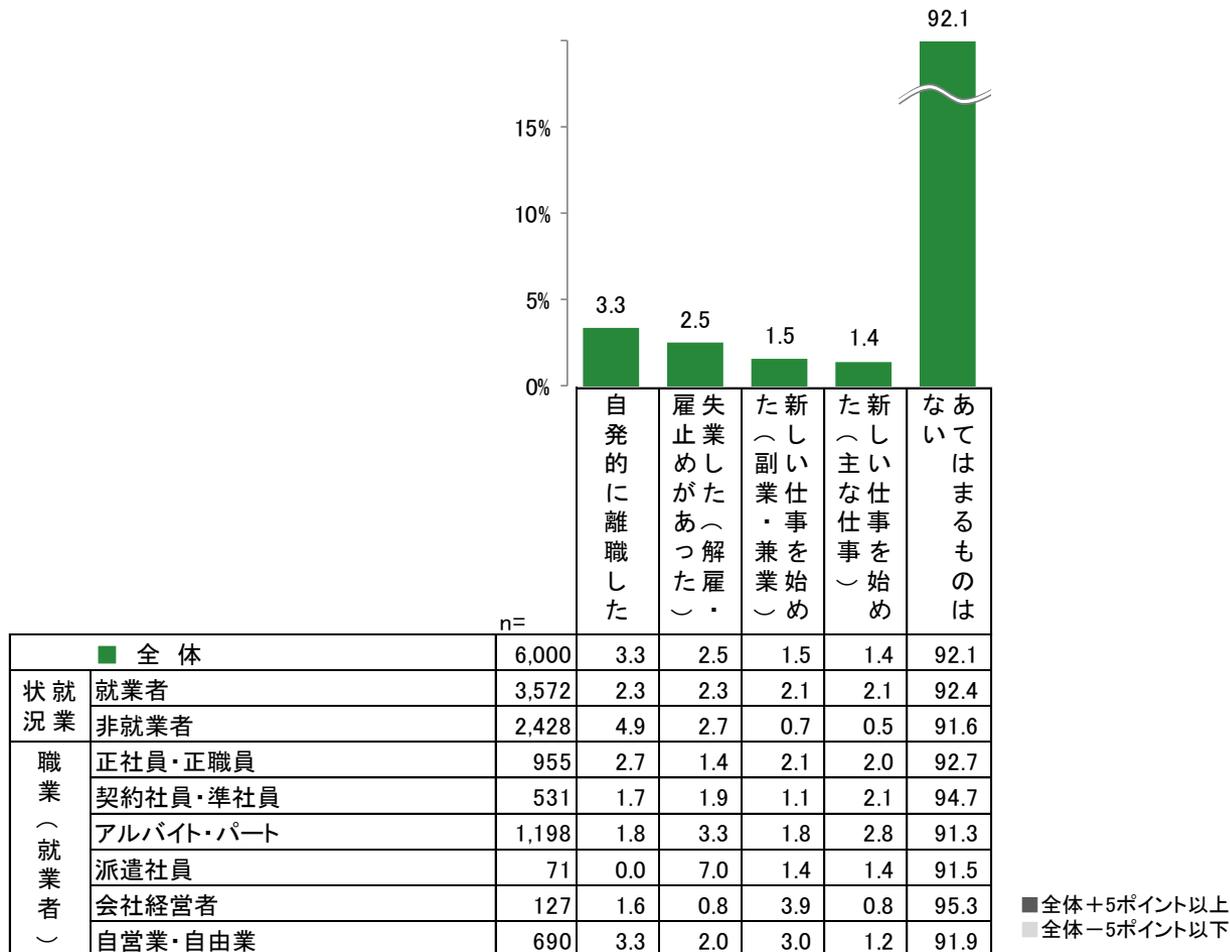
「健康維持のために働きたいと思った」「将来に備えて働きたいと思った」が5割超。「人とのつながりを持つために働きたいと思った」「金銭的に働く必要ができた」が約4割となった。「健康維持のために働きたいと思った」は非就業者よりも就業者で割合が高く、実際に働くことが健康維持につながっているという実感があるものと推測される。



Q. 新型コロナウイルスの影響で、働きたい／働き続けたいという気持ちが強まったのはなぜですか。（複数回答）

【対象者：「強まった」または「やや強まった」人】

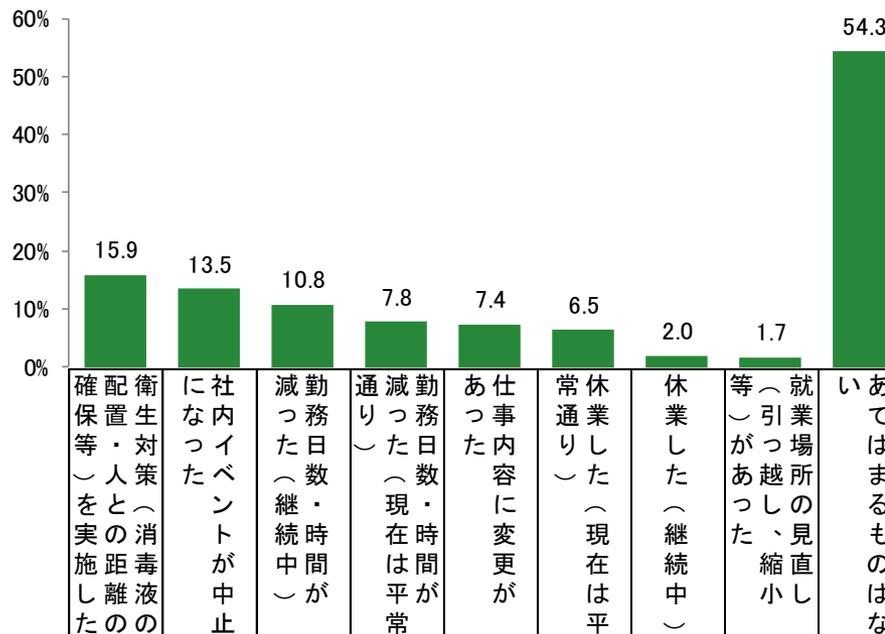
「自発的に離職した」3.3%、「失業した（解雇・雇止めがあった）」2.5%などとなった。（※調査対象者には働くつもりがない人が含まれていない点に注意が必要。P.3参照。また、就業状況・職業は回答時点のもの。）



Q. 新型コロナウイルスによるあなたの仕事への影響として、あてはまるものをお選びください。（複数回答）

【対象者：全員】

就業者に仕事への影響を聞くと、「衛生対策を実施した」15.9%、「社内イベントが中止になった」13.5%などとなった。「勤務日数・時間が減った」は継続中・現在は平常通りを合わせると約2割。「休業した」は同じく合わせて1割弱だった。（※継続中・現在は平常通りは、いずれかのみ選択可。）



		n=	15.9	13.5	10.8	7.8	7.4	6.5	2.0	1.7	54.3
職業	■ 全体	3,572	15.9	13.5	10.8	7.8	7.4	6.5	2.0	1.7	54.3
	正社員・正職員	955	18.2	21.8	6.5	6.6	7.2	3.5	0.9	2.3	55.7
	契約社員・準社員	531	19.4	22.6	9.8	8.3	4.9	5.1	1.3	2.6	51.0
	アルバイト・パート	1,198	14.9	8.5	11.4	10.0	6.6	8.0	2.3	1.2	53.9
	派遣社員	71	18.3	23.9	14.1	8.5	11.3	8.5	1.4	5.6	36.6
	会社経営者	127	17.3	14.2	12.6	7.9	13.4	9.4	0.8	0.8	55.1
	自営業・自由業	690	11.2	2.3	15.7	5.2	9.3	8.3	3.8	1.0	57.4

■ 全体+5ポイント以上
 ■ 全体-5ポイント以下

Q. 新型コロナウイルスによるあなたの仕事への影響として、あてはまるものをお選びください。（複数回答）

【対象者：就業者】

「オンライン会議」「非常時のテレワーク」については「とても進んだ」または「進んだ」との回答が2割弱となった。WEBアンケートのためパソコンやスマートフォンに慣れた回答者が多いと考えられるものの、シニア層でもオンラインでの働き方が進んできていることが分かる。

	n=	変化なし(以前より実施あり)						この働き方はしていない	進んだ・計	後退した・計
		とても進んだ	進んだ	変化なし(以前より実施あり)	後退した	とても後退した	(%)			
オンライン会議	3,572	6.0	13.4	12.3	0.4	0.2	67.7	19.4	0.6	
非常時のテレワーク	3,572	4.9	11.3	14.4	0.3	0.2	68.9	16.2	0.5	
日常的なテレワーク	3,572	4.1	8.6	17.2	0.3	0.2	69.6	12.7	0.5	
時差出勤、フレックスタイム	3,572	2.7	9.4	18.2	0.6	0.3	68.8	12.2	0.9	
長時間労働の是正	3,572	1.5	7.9	24.6	1.3	0.6	64.1	9.4	1.9	
業務におけるIT化・DX推進	3,572	1.3	7.4	22.1	0.3	0.3	68.6	8.7	0.6	
副業・兼業	3,572	0.8	2.0	18.8	0.9	0.7	76.9	2.7	1.6	

Q. 過去1年ほどで、あなたの働き方に変化がありましたか。(単一回答)【対象者：就業者】

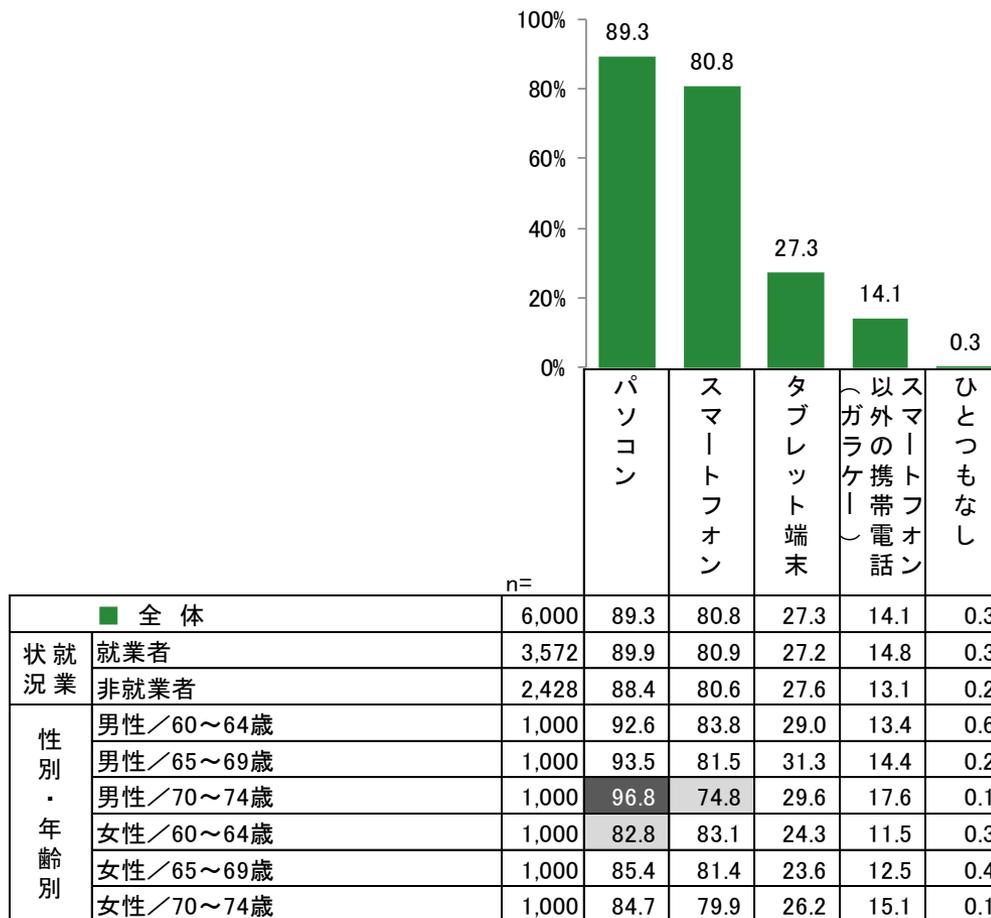
「健康に気をつかうようになった」が「あてはまる」または「ややあてはまる」との回答が8割超。「パソコンやスマートフォンを使い始めた、使う時間を増やした」は5割超、「家族や友人とビデオ通話などオンラインでのコミュニケーションを増やした」は約3割だった。前頁同様、WEBアンケートという条件はあるものの、日常生活でもオンライン化が進んできていると考えられる。

	n=	%			やあ ややあ あは あてま はまる ま 十 る
		あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	
健康に気をつかうようになった	6,000	29.6	53.5	16.9	83.1
家計を見直した、節約するようになった	6,000	12.2	45.4	42.4	57.6
パソコンやスマートフォンを使い始めた、使う時間を増やした	6,000	14.6	39.6	45.9	54.2
家事の時間を増やした	6,000	9.9	40.0	50.1	49.9
運動習慣を取り入れた、運動する時間を増やした	6,000	13.3	30.9	55.8	44.2
趣味を始めた、時間を増やした	6,000	7.1	33.8	59.1	40.9
家族や友人とビデオ通話などオンラインでのコミュニケーションを増やした	6,000	6.0	23.7	70.4	29.6
新しいことを学び始めた、学習の時間を増やした	6,000	3.5	17.5	79.0	21.0
地域活動やボランティアを始めた、時間を増やした	6,000	2.5	13.2	84.4	15.6
育児や介護の時間を増やした	6,000	2.7	10.6	86.6	13.4

Q. 過去1年ほどで、あなたの生活の中で変化したこととして、あてはまるものをお答えください。（単一回答）

【対象者：全員】

「パソコン」は約9割、「スマートフォン」は約8割の回答者が使っていると回答した。前頁同様、WEBアンケートという条件はあるものの、多くのシニアがパソコンやスマートフォンを利用していると考えられる。



Q. 次にあげるもののうち、あなたがお持ちで使っているものを全てお知らせください。（複数回答）【対象者：全員】

収入減

- 今は仕事が激減しているので、パート収入が3分の1になった。早くコロナが収まって日常がいつもどおりになってほしい。(70歳女性、アルバイト・パート)
- コロナ補助が全く足りない。数種類の給付金など去年のうちにとっくになくなって生活ができない。(61歳男性、自営業・自由業)

働きたいが感染が心配

- コロナが終息しない限り、仕事や通勤の面で不安である。(61歳女性、派遣社員)
- 高齢で感染が心配なので仕事を控えている。コロナワクチンを接種し、効果が実感できたらまた仕事に復帰したい。(70歳男性、無職)
- 派遣会社から仕事は来るが、コロナ感染が心配で特に混雑した電車通勤が有ることに踏み切れないでいる。(61歳女性、専業主婦／主夫)
- リタイアして1年。コロナ感染がこわくて働いていないが、段々復帰できないような気がしてきた。(66歳女性、無職)

仕事探しの難しさ

- コロナ禍で思うように仕事探しができない。(66歳女性、専業主婦／主夫)
- コロナのせいで求人が少なくなってきたように感じる。経済的なことより、社会とのつながりや、外に出ることによって身なりを気にしたり健康面に緊張感をもてるので体の続く限りはたらかきたいというのが正直な気持ちである。そのために仕事に就きたい。(74歳女性、無職)

Q. 今後の仕事や生活についてのご希望や不安についてどのような事でも結構ですので具体的にお知らせください。
(自由回答)【対象者：全員】